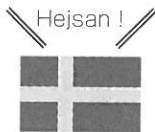




行った！見た！北欧

全3回 ①北欧の健康

ぼほろスクエア 社浦宗隆



スウェーデンの首都ストックホルム

にひかれてしまいます。

の午前6時。朝の散歩中に公園にある謎のモニュメントに吸い寄せられていく発達保障研究センター

デンマークの人口1000人あたりの自転車保有台数は世界第3位、スウェーデンは第5位です。これらのことから北欧諸国の健康への意識の高さがうかがえるのではないのでしょうか。

ち。よく見てみると使い方がピクトグラム（絵文字）によって表示されています。モニュメントの正体は健康遊具。健康遊具とは、「青空の下で気軽に運動できるように設置されている大人向けの施設」

養命酒製造株式会社ホームページ内のコラムにこんな興味深い言葉がありました。

のことで、実は日本国内でもちらほらと見かけることができます。しかし、公園内に自然に溶け込むように設置されているのはさすがデザイン大国北欧と言えるでしょう。また、川沿いを歩くと颯爽と走るランナーたちによくすれ合っています。仲間内で連れ立って走る人たちの姿もありました。

「北欧の『健康』とは、いわば『高度な福祉』と、そこから生じる『心のゆとり』が中心にある」。なるほど、福祉の充実が心のゆとり、ひいては健康につながっていくというのはわかりやすい話です。

デンマークの首都コペンハーゲンでの午前7時30分。通勤ラッシュのこの時間帯は、通勤中の自転車に気をつけて歩かなくてはなりません。自転車専用道路が整備され、そこをのんびり渡るものなら猛スピードで走ってくる自転車



▲健康遊具で運動をするツアー参加者